

## 重点施策 3

# 特別支援教育の推進に向けて

複数の障害種に対応した適切な教育ができる体制の整備及び適切な指導・支援の充実、また、幼児児童生徒数の急速な増加に対応した教育体制の整備に取り組みます。

さらに、県立特別支援学校では、地域の幼稚園、小・中・高等学校等に対し、適切な助言又は援助を行うセンター的機能の充実や、高等部への進学者が増加している中で、生徒の障害やニーズの多様化に対応した高等部の教育条件の整備・充実、進路指導・職業教育の充実を進めていきます。

## 学校での取組

### 複数の障害種に対応する教育体制の整備

- 障害種に対応した専門的な教育を、できるだけ身近な地域で受けられる体制の整備を行います。

- 県立誕生寺支援学校校舎等を整備します。
- 県立西備支援学校肢体不自由部門棟を新設します。
- 県立東備支援学校校舎を整備します。
- 倉敷・総社地域等新設特別支援学校を整備します。(場所:倉敷市真備町箭田地内)



県立誕生寺支援学校新体育館

### 指導・支援体制の整備

- 幼稚園、小・中・高等学校等への支援を行っています。

- 特別支援学校教員等の巡回相談員、臨床心理士等の専門家チームによる学校等への支援を行います。

- 教員の専門性の向上に努めています。
- 肢体不自由特別支援学校において、教員による医療的ケアを実施します。



医療的ケアの実技研修

### 小・中学校における特別支援教育の充実

- 発達障害のある児童生徒に対する教員の指導力を向上します。
- 自閉症・情緒障害特別支援学級の指導を充実させます。
- 通常の学級における特別支援教育の視点を取り入れた授業を目指します。



文字の書きにくい子どもへの支援の例  
「マス目の大きさや数の異なる原稿用紙」

### 学校配置の適正化

- 平成22年4月、就労による社会自立を目指す県立倉敷琴浦高等支援学校が開校しました。

- 平成21年度に開校した、県立岡山瀬戸高等支援学校に続き、専門的な職業教育を実施します。



県立倉敷琴浦高等支援学校

### 職業教育の充実

- 職業科を設置した県立岡山瀬戸高等支援学校では、資格取得や種々の検定にも挑戦しています。

- アビリンピック岡山大会(岡山県障害者技能競技大会)

- 喫茶サービス部門に3名、パソコンデータ入力部門に2名、ビルクリーニング部門に1名の合計6名が参加しました。ビルクリーニング部門(写真)では、弾性床清掃課題で、学校で学習したとおりに清掃することができ、見事に銀賞を獲得しました。



### 高等学校における特別支援教育の充実

- 発達障害支援推進校での取組を進めます。

- 県立高等学校11校を指定して、高等学校における発達障害のある生徒への支援の在り方を研究します。

- 高等学校の特別支援教育を推進するコーディネーター、ミドルリーダーを育成します。



発達障害支援連絡協議会

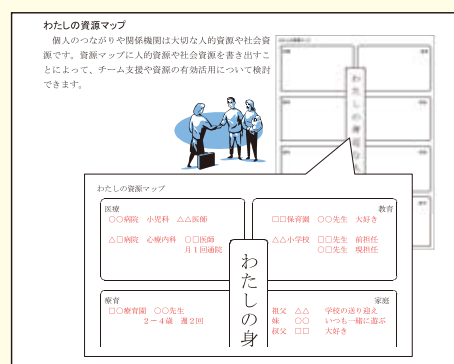
## 家庭と連携した取組

### 就学前における支援の充実

- 就学前の早期からの支援や、保育所・幼稚園、小学校等との連携を促進します。

- 就学手続についての分かりやすいパンフレット等を作成します。
- 乳幼児期から成人期までの一貫した支援のための「相談支援ファイル」の作成等、市町村での取組を応援します。
- 幼稚園における特別支援教育の充実に向けた研究に取り組みます。

津山教育事務所を中心として作成した  
「相談支援ファイル『はぐくみ』」から抜粋



## 地域と連携した取組

### 早期からの就労体験の機会拡大

- 関係機関との連携・協力による就労支援体制を充実させます。

#### (特別支援学校)

- 中学部から、就労体験中の生徒をサポートするジョブ支援員とともに就労体験を行います。

#### (高等支援学校)

- 就労による社会自立を目指す高等支援学校の職業教育を充実させます。
- 高等支援学校において、多くの産業現場における実習を重ねます。
- 就労支援コーディネーター、労働・福祉関係者等によるスムーズな社会自立のためのケース会議を開催します。



県立岡山瀬戸高等支援学校  
製本会社での実習  
(日宝総合製本株式会社)



県立岡山瀬戸高等支援学校  
製菓会社での実習  
(株式会社カバヤ食品)



県立倉敷琴浦高等支援学校  
環境サービスの清掃学習  
(校内での実習)